

部局名：地域連携部

平成29年度当初予算知事査定ヒアリング資料

順番	細事業名	事業費(単位:千円)	ページ
1	競技力向上対策事業費	261,532	1
合 計		261,532	



平成29年度事業マネジメントシート（事務事業）

担当課

地域連携部スポーツ推進局 スポーツ推進課

事業概要

細事業名		競技力向上対策事業費					区分	継続
施策		242	競技スポーツの推進					
基本事業		24201	競技力の向上					
		目標項目		28年度実績値		31年度目標値		
		全国大会の入賞数		124件		142件		
根拠 (法令等)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ基本法</li> <li>・三重県スポーツ推進条例</li> <li>・三重県スポーツ推進計画</li> </ul>						
予算額等	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	予算額		264,998千円	千円				
	決算額	170,694千円						
事業の目的		<p>・本県アスリートの育成・強化を進めることで、平成33年に本県で開催する第76回国民体育大会において、本県アスリートが活躍し、天皇杯（男女総合優勝）・皇后杯（女子総合優勝）の獲得を目指し、総合的・計画的に競技力向上対策をすすめるとともに、国民体育大会終了後も安定した競技力を確保することを目的とします。</p>						
事業目標		<p>・平成25年5月に設置した「三重県競技力向上対策本部」を中心として、県体育協会、競技団体等関係機関と連携し、「三重県競技力向上対策基本方針」に基づき、第72回国民体育大会（平成29年）における男女総合成績10位台の獲得とともに、全国大会入賞件数142件を平成31年度の目標値に設定しました。</p>						
前年度からの変更点		<p>・三重県競技力向上対策基本方針において定めた「育成期」の2年目を迎えることから、一定の成果を上げた事業や終期を迎えた事業を廃止するなど、競技力向上対策事業を精査したうえで、平成29年の愛媛国体や平成33年の三重とこわか国体へ向けた取組を進めます。</p>						
事業の必要性と期待される効果		<p>・平成33年の三重とこわか国体において、天皇杯・皇后杯の獲得を目指すためには、計画的かつ戦略的な取組が必要です。これまでの継続的な競技力向上の取組によって、競技力向上へ向けた基盤や体制は、それぞれの競技団体で整いつつあります。このことから、引き続き競技団体への支援を行うことで、より一層の育成・強化を進めていく必要があります。</p> <p>・中学校及び高等学校運動部、クラブチームの強化指定による強化活動を支援するなど、平成30年度の全国高等学校総合体育大会や平成33年の三重とこわか国体のターゲット</p>						

エイジとなる中学生、高校生選手の育成・強化を図る必要があります。

- ・ トップアスリートの就職支援や大学運動部、企業・クラブチームの強化指定、成年選手の強化指定等により、成年選手の安定した競技力を確保する必要があります。
- ・ 国内外で活躍するトップアスリートをスポーツ指導員として配置する取組及び優れた指導実績を持つ指導者や国際的な競技力を有する選手を特別コーチとして派遣する取組を通じて、ジュニア・少年選手及び成年選手の競技力向上と指導者の資質向上を図る必要があります。
- ・ 女性アスリートの指導者養成や女性特有の課題解決へ向けて専門家を現場に派遣することで、女性がスポーツで活躍できる環境整備が進められます。また、昨年度に着手した女性アスリートの発掘に引き続き取り組むことにより、国内外で活躍する女性アスリートの育成・強化を進めることができます。

#### 取組詳細

「三重県競技力向上対策本部」を中心として、各関係団体との連携を図りながら事業の推進を図ります。

#### 【ジュニア・少年選手の育成・強化】

将来有望なジュニア選手や中学校運動部、ジュニアクラブ、高等学校運動部を強化指定し、強化活動を支援することで、平成 33 年の三重とこわか国体において活躍が期待できる選手の育成・強化を行います。また、国内外での活躍が期待できるジュニア・少年選手を「チームみえスーパージュニア」として指定し、県民の皆さん等からの寄付金を活用してその強化活動を支援します。

#### 【成年選手の育成・強化】

就職支援により、トップアスリートの県内定着を進めるとともに、大学運動部、企業・クラブチーム、成年選手の強化指定を行います。

#### 【競技国体への支援】

平成 29 年の第 72 回国民体育大会や平成 33 年の三重とこわか国体に向けた競技団体の強化活動を支援します。

#### 【女性アスリートの発掘・育成】

国内外の大会において活躍できる女性アスリートの発掘・育成をさらに進めます。また、女性アスリートを指導する指導者の資質向上を図るとともに、女性アスリートが抱える課題を解決するため、専門家の現場派遣に取り組みます。

#### 【指導者の養成・確保】

国内外で活躍するトップアスリートをスポーツ指導員として配置するほか、優れた指導実績を持つ指導者や国際的な競技力を有する選手を特別コーチとして派遣することで、ジュニア・少年選手及び成年選手の競技力向上と指導者の資質向上を図ります。

また、強化指定運動部、チームの指導者を対象とした研修会を実施します。

#### 【環境整備】

競技団体の競技力向上につながる特殊用具備品の整備を計画的に行います。

#### 【啓発・広報】

チームみえの広報に取り組み、スポーツを「する人」、「みる人」、「支える人」の一体感

#### 取組概要

を醸成します。

#### 取組内容等

#### 競技力向上対策事業 261,532千円(252,107千円)

- ・「三重県競技力向上対策本部」を中心として、県体育協会等関係団体と連携し、「三重県競技力向上対策基本方針」に基づき、競技力向上の取組を推進します。

#### 【主な内容】

##### 【ジュニア・少年選手の育成・強化】

#### ①ジュニア選手の育成(H28:25,490千円→H29:18,918千円)

- ・将来有望なジュニア選手をチームみえジュニアとして育成し、三重とこわか国体に向けた長期的な競技力向上に取り組むとともに、三重とこわか国体終了後の安定した競技力の確保を図ります。

#### ②中学生選手の育成・強化(H28:6,959千円→H29:4,801千円)

- ・全国大会での活躍が期待できる中学校運動部やジュニアクラブを強化指定し、三重とこわか国体のターゲットエージである中学生の競技力向上に、より一層取り組みます。

#### ③高校生選手の育成・強化(H28:33,064千円→H29:30,470千円)

- ・全国大会で活躍が期待できる高等学校運動部を強化指定し、合宿や遠征等の強化活動の充実を図ります。また、平成30年度の全国高等学校総合体育大会に向けた選手の強化を行います。
- ・平成30年度の全国高等学校総合体育大会に向けた合同強化練習及び中学校と高等学校の合同練習に取り組みます。

#### ④「チームみえスーパージュニア」の育成・強化(H28:3,000千円→H29:3,000千円)

- ・県民の皆さんや企業等からの寄附金を活用して、将来国内外で活躍が期待されるジュニア選手を「チームみえスーパージュニア」として指定し、強化練習等を支援することで育成を進めます。

##### 【成年選手の育成・強化】

#### ⑤大学運動部、企業・クラブチームの強化指定(H28:13,009千円→H29:10,944千円)

- ・成年種別の競技力向上の中核となる、大学運動部、企業・クラブチームを強化指定し、合宿や遠征等の強化活動を支援します。

#### ⑥成年強化選手の指定(H28:1,500千円→H29:1,500千円)

- ・東京オリンピック・パラリンピックで活躍が期待できる、国内トップレベルにある本県出身の成年選手を強化指定し、その強化活動を支援します。

#### ⑦トップアスリート就職支援(H28:10,718千円→H29:10,759千円)

- ・国内外で活躍するトップアスリートが県内に定着し、競技を継続できるよう、就職支援の取組を引き続き進めます。

##### 【競技団体への支援】

#### ⑧平成29年国民体育大会に向けた取組(H28:74,590千円→H29:85,003千円)

- ・平成29年の第72回国民体育大会において、天皇杯得点1,100点、天皇杯順位10位台の獲得へ向けて、入賞が期待できる競技団体に対し、確実に得点が獲得できるよう強化活動の充実に取り組みます。

⑨三重とこわか国体へ向けた取組（H28：18,208千円→H29：14,999千円）

- ・各競技団体のトップレベルの選手に対し、全国大会において活躍できるよう、強化活動を支援します。

**【女性アスリートの発掘・育成】**

⑩女性アスリートタレント発掘（H28：6,002千円→H29：8,000千円）

- ・ラグビーフットボール競技に特化した女性アスリートの発掘・育成を推進し、国内外の大会で活躍するトップアスリートの育成をさらに進めます。

⑪女性アスリートサポート（H28：1,395千円→H29：699千円）

- ・女性アスリートが競技に継続して取り組める環境を整備するため、女性アスリートを指導する指導者を対象とした研修会を拡充するとともに、女性アスリートが抱える女性特有の課題解決へ向け、専門家を派遣します。

**【指導者の養成・確保】**

⑫指導者研修（H28：1,972千円→H29：2,002千円）

- ・強化指定運動部、チームの指導者の研修会を実施し、指導者の資質向上を図ります。

⑬スポーツ指導員の配置（H28：18,932千円→H29：22,946千円）

- ・国内トップアスリートをスポーツ指導員として配置し、ジュニア・少年選手や成年選手の競技力向上に取り組むとともに、指導者の資質向上を図ります。

⑭特別コーチの派遣（H28：2,561千円→H29：3,980千円）

- ・国内外の大会で活躍する選手や優れた指導実績をもつ指導者を特別コーチとして競技団体に派遣し、競技力向上を図るとともに、指導者の資質向上を図ります。

**【環境整備】**

⑮環境整備（H28：7,000千円→H29：7,000千円）

- ・競技力の向上につながる特殊用具備品の整備を計画的に行います。

**【啓発・広報】**

⑯みえのアスリート応援・発信（H28：3,670千円→H29：3,521千円）

- ・本県代表及び本県出身アスリートの活躍を幅広く広報し、情報発信を行うことで、スポーツを「する人」、「みる人」、「支える人」の一体感を醸成します。

# 競技力向上対策予算について

H28当初予算 264,998千円  
 (H27 2月補正 含む)  
 H29当初予算要求 261,532千円



## 1 強化費の負担割合

### 【強化費の現状】

(H28.12 競技団体等調査より)

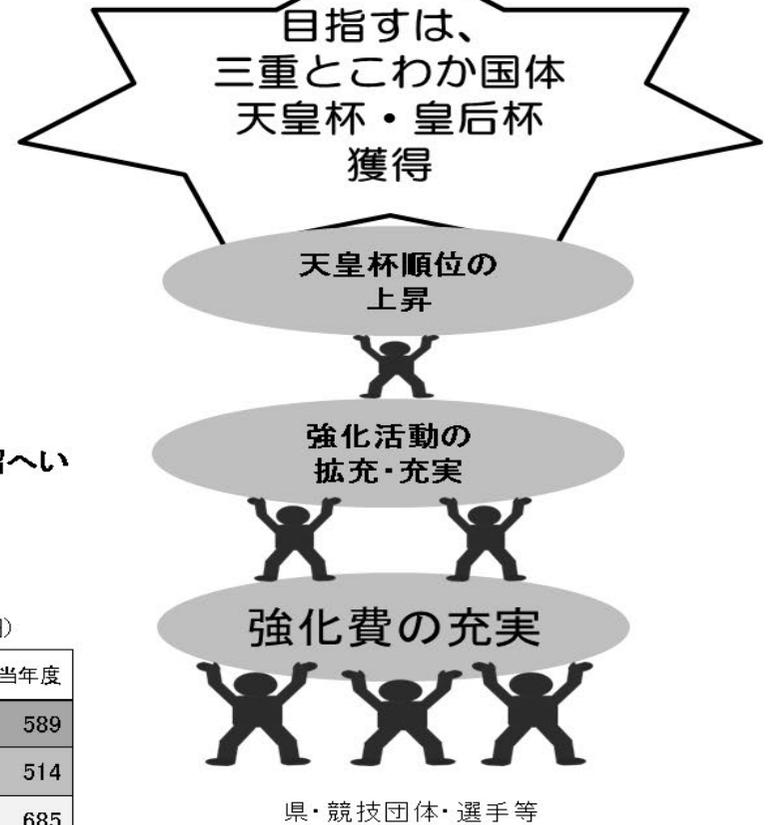
競技団体等負担 50%	県競技力向上対策本部負担 50%
----------------	---------------------

### 【H29当初予算】

[強化活動の縮小]

競技団体等負担	減額	県競技力向上対策本部負担
---------	----	--------------

- ・県の予算が減額された場合、競技団体等には、その減額分を負担する力がない。
- ・競技団体のモチベーションが下がり、強化活動が縮小され、天皇杯順位が大幅に下降するおそれがある。



## 2 平成29年度 of 取組方向

- ・競技団体の実態に応じた、メリハリの効いた支援を実施します。
  - ・平成28年度に明らかになった課題に的確に対応するため、以下の取組に特に注力します。
  - ・選手・指導者の経験不足 ➡ 県外の強豪との対戦を数多く経験させる
  - ・乏しい情報戦略 ➡ 情報収集と分析のためのアドバイザーの招へい
  - ・トップアスリートの確保 ➡ 就職支援に、より計画的に取り組む
- こうした取組を行うため、今年度と同規模の予算確保が必要。

【先催県の強化費と天皇杯・皇后杯順位の推移】 群馬県調査資料より抜粋 (百万円)

国民体育大会開催県	5年前	天皇杯順位	4年前	天皇杯順位	3年前	天皇杯順位	2年前	天皇杯順位	1年前	天皇杯順位	当年度
		皇后杯順位									
岐阜(H24)	352	20	476	17	508	16	457	11	600	4	589
		9		11		8		12		3	
長崎(H26)	219	20	219	31	468	15	587	20	616	10	514
		23		40		18		23		13	
和歌山(H27)	291	37	336	43	448	21	573	18	740	15	685
		38		45		37		26		19	

平成28年度事業マネジメントシート（事務事業）

担当課

地域連携部スポーツ推進局 スポーツ推進課

事業概要

細事業名		競技力向上対策事業費					区分	継続
施策		242	競技スポーツの推進					
基本事業		24201	競技力の向上					
		目標項目		27年度実績値		31年度目標値		
		全国大会の入賞数		117件		142件		
根拠 (法令等)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ基本法</li> <li>・三重県スポーツ推進条例</li> <li>・三重県スポーツ推進計画</li> </ul>						
予算額等	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	予算額		264,998千円					
	決算額	170,694千円						
事業の目的		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県アスリートの育成・強化を進めることで、平成33年に本県で開催する第76回国民体育大会において、本県アスリートが活躍し、天皇杯（男女総合優勝）・皇后杯（女子総合優勝）の獲得を目指し、総合的・計画的に競技力向上対策をすすめるとともに、国民体育大会終了後も安定した競技力を確保することを目的とします。</li> </ul>						
事業目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年5月に設置した「三重県競技力向上対策本部」を中心として、県体育協会、競技団体等関係機関と連携し、「三重県競技力向上対策基本方針」に基づき、第71回国民体育大会（平成28年）における男女総合成績10位台の獲得とともに、全国大会入賞件数142件を平成31年度の目標値に設定しました。</li> </ul>						
前年度からの変更点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに国民体育大会に導入される競技への対応と女性アスリートが継続して競技に取り組むことができる環境づくりについて調査・研究し、女性アスリートの競技力向上を図ります。</li> <li>・女性に特化した、アスリートタレント発掘・育成の体制づくりに取り組みます。</li> <li>・トップアスリートが、県内に定着できるように就職の支援を行うとともに、新たなチーム結成に向けた取組を行い、計画的に成年選手が活躍できるよう、より環境づくりを進めるとともに成年選手の強化指定に取り組みます。</li> </ul>						

事業の必要  
性と期待さ  
れる効果

- ・平成 33 年に本県で開催する第 76 回国民体育大会において、天皇杯・皇后杯の獲得を目指すためには、計画的かつ戦略的な取組が必要です。これまでの継続的な競技力向上の取組によって、基盤・体制づくりが進み、引き続き競技団体への支援を行うことで、さらなる育成を進めていく必要があります。
- ・トップアスリートの就職支援や、企業・クラブチーム等の強化指定、成年選手の強化指定等により成年選手の安定的な競技力確保を進めます。
- ・中学校及び高等学校運動部、クラブチームの強化指定等に取り組むことで、平成 33 年の国民体育大会の少年選手のターゲットエイジとなる中学生選手及び平成 30 年の全国高等学校総合体育大会のターゲットエイジとなる高校生選手の育成・強化を進める必要があります。
- ・女性アスリートに特化した指導者の育成や、相談窓口の設置、発掘、育成システムの体制づくりを行うことで全国でも先進的な取組を進めることができます。
- ・指導者の養成・確保を進めるため、資質向上のための研修会の実施や、スポーツ指導員の配置、特別コーチの派遣に取り組む必要があります。

取組詳細

取組概要

- 三重県競技力向上対策本部」を中心として、各関係団体との連携を図りながら事業の推進を図ります。
- <ジュニア・少年選手>
- 将来有望なジュニア選手の育成や中学校運動部、クラブチーム、高等学校運動部の強化指定により平成 33 年の三重とこわか国体において活躍が期待される選手の育成を行います。また、国内外での活躍が期待される「チームみえスーパージュニア」を寄付金の活用により支援します。
- <少年・成年共通>
- 平成 28 年の第 71 回国民体育大会に向けた短期的な強化活動の支援や、平成 33 年の三重とこわか国体を視野に入れた強化活動の支援を行います。
- <女性アスリート>
- 女性アスリートの指導者の資質向上や、相談窓口設置、選手の発掘育成等に取り組みます。
- <成年選手>
- 就職支援により、トップレベルの成年選手の確保を進めるとともに、大学運動部、企業、クラブチームの強化指定、選手の強化指定等を行います。
- ジュニア・少年選手の競技力向上及び指導者の資質向上を図るため、スポーツ指導員を配置します。
- <指導者>
- 指導者の資質向上のための研修会実施や、公認スポーツ指導者の養成、強化指定運動部指導者のサポートを行います。

<環境・広報>

競技団体の競技力向上につながる備品等の環境整備を行うとともに、チームみえの広報に取り組みます。

取組内容等

競技力向上対策事業 263,603千円(146,046千円)

・「三重県競技力向上対策本部」を中心として、県体育協会等関係団体と連携し、「三重県競技力向上対策基本方針」のもと、競技力向上の取組を推進します。

【主な内容】

<ジュニア・少年選手>

①ジュニア選手の発掘・育成

・ジュニア選手の人口が少ない競技団体について、将来有望な選手を新たに発掘、育成するための取組を行います。

②中学生選手の強化

・全国大会での活躍が期待できる中学校運動部やジュニアクラブを強化指定し、合宿や遠征等の強化活動の充実を図ります。また、平成30年の全国高等学校総合体育大会に向けた選手の育成を行います。

・平成30年の全国高等学校体育大会に向けて、県内トップレベル運動部の合同練習に取り組みます。

③高校生選手の強化

・全国大会で活躍が期待できる高等学校運動部を強化指定し、合宿や遠征等の強化活動の充実を図ります。また、平成30年の全国高等学校総合体育大会に向けた選手の育成を行います。

・平成30年の全国高等学校総合体育大会に向けた合同練習及び中学校と高等学校の合同練習に取り組みます。

④「チームみえスーパージュニア」の育成・強化

・県民のみなさんや企業等からの寄附金を活用して、将来国内外で活躍が期待されるジュニア選手の強化練習等を支援し、育成を進めます。

<少年・成年共通>

⑤平成28年度国民体育大会に向けた強化（短期）

・第71回国民体育大会において入賞が期待できる競技団体に対し、合宿、遠征等の強化活動を年間を通じて支援します。

⑥平成33年に国民体育大会に向けた強化（中長期）

・全国大会において活躍できるよう、各競技団体のトップレベルの選手に対し、年間を通じた合宿、遠征等の強化活動を支援します。

<女性アスリート>

⑦女性アスリートサポート

・女性アスリートが競技に継続して取り組めるよう環境を整備するとともに、国民体育大会に女子種別の正式競技として新たに導入される競技への対応に取り組みます。

・女子ラグビーに特化した、女性アスリートの発掘・育成を行い、国内外の大会で活躍するトップアスリートを育成するための体制づくりに取り組みます。（新規）

<成年選手>

⑧成年強化選手の指定

- ・国内トップレベルにある本県出身の成年選手を強化指定し、その強化活動を支援します。  
(新規)

⑨大学運動部、企業・クラブチームの強化指定

- ・成年種別の競技力向上の中核となる、大学運動部、企業・クラブチームを強化指定し、合宿や遠征等の強化活動を支援します。

⑩スポーツ指導員の配置

- ・国内トップアスリートをスポーツ指導員として年間を通じて配置し、ジュニア・少年選手や成年選手の競技力向上に取り組むとともに、指導者の資質向上を図ります。

⑪トップアスリート就職支援

- ・トップアスリートが、県内に定着できるよう、就職支援を行い、計画的に成年選手が活躍できるように、環境づくりを進めます。

<指導者>

⑫指導者研修

- ・国民体育大会の監督、スタッフの研修会を実施し、意識醸成及び資質向上を図ります。
- ・強化指定運動部、チームの指導者の研修会を実施し、中核的な指導者としての意識醸成及び資質向上を図ります。

⑬特別コーチの派遣

- ・国内外の大会で活躍する選手や優れた指導実績をもつ指導者を特別コーチとして競技団体に派遣し、競技力向上を図るとともに、指導者の資質向上を図ります。

<環境整備・広報>

⑭医・科学的なサポート

- ・スポーツ医・科学の専門家を強化合宿や大会等に派遣し、競技力向上を図ります。

⑮環境整備

- ・競技力の向上につながる特殊用具備品の整備を戦略的、計画的に行います。

⑯みえのアスリート応援・発信

- ・本県代表及び本県出身アスリートの活躍を幅広く広報し、情報発信を行うことで、スポーツを「する人」、「みる人」、「支える人」の一体感を醸成します。

<その他>

- ・計画的な競技力向上に取り組むため、三重県競技力向上対策本部「本部会議」「競技力向上対策委員会」「各種専門委員会」の開催を行います。

(繰越) 競技力向上対策事業 1,395千円 (-千円)

女性アスリートサポート事業

- 女性アスリートの競技力の向上を図るため、相談窓口の設置等の支援を行います。
- ・女性アスリートのための相談窓口の設置を行い、女性の競技継続のためのサポートを行います。
- ・女性アスリートの指導者研修会を行い、指導者の資質向上に取り組みます。

成果と残された課題

<ジュニア・少年選手>

①ジュニア選手の発掘・育成

ジュニア選手の人口が少ない6競技において発掘事業を実施しました。今後は、競技を継続できるよう取組を進める必要があります。また、全国大会等で活躍が期待できるジュニア選手を「チームみえジュニア」として(655名)指定し、7月に指定証交付式を行いました。同時に各競技団体のジュニアを指導する指導者と選手の保護者を対象とした研修会を実施して、意識の醸成を図りました。

②中学生選手の強化

中学校運動部(13校13部)及び全国大会で活躍が期待できる中学生が所属するジュニアクラブ(9クラブ)を強化指定したことで、全国中学校体育大会での入賞数が(H27:9件→H28:13件)増加しました。今後は、三重とこわか国体のターゲットエイジとなる中学生選手の育成・強化に計画的、戦略的に取り組む必要があります。

③高校生選手の強化

高等学校運動部(30校71部)の強化指定を拡充し、強化活動を支援したことで全国高等学校総合体育大会での入賞数が(H27:46件→H28:47件)増加しました。また、平成30年の全国高等学校総合体育大会に向けて高等学校合同練習会を29種目、中学校・高等学校合同練習会を6種目で計画しています。今後は、全国高等学校総合体育大会のターゲットエイジとなる高校生選手の育成・強化に取り組む必要があります。

④「チームみえスーパージュニア選手」の強化

県民のみなさんや企業等からの寄附金(三重から発進!未来のトップアスリート応援募金)を活用し、将来国内外の大会で活躍が期待されるジュニア選手9名を「チームみえスーパージュニア」として指定しました。

<少年・成年共通>

⑤平成28年度国民体育大会に向けた強化(短期)

第71回国民体育大会において入賞が期待される競技団体・種目・種別に対して合宿、遠征等強化活動を支援した結果、30種目が国民体育大会第37回東海ブロック大会を通過しました。通過した種目・種別は、十分入賞できる実力を持っており、各競技団体と緊密に連絡調整を進め、本大会での成績につなげる必要があります。

⑥平成33年の国民体育大会に向けた強化(中長期)

平成33年の三重とこわか国体へ向けて、全国大会における入賞レベル相当の競技力獲得と競技普及を図るため、年間を通じた強化活動を支援したことで、東海ブロック大会を突破し、本大会への出場を決めた競技があります。今後は、より多くの競技・種目が全国大会入賞レベルの競技力を向上させることができるよう、計画的・戦略的に取組を進める必要があります。

<女性アスリート>

⑦女性アスリートサポート

女性アスリートをサポートするための電話相談窓口を7月に設置しました。女性アスリートやその指導者等の利用を促進するため、県体育協会と連携して周知を徹底していく必要があります。

女性アスリートタレント発掘・育成については、中央競技団体や学識経験者等で構成する運営委員会

を6月に設置しました。事業の枠組や計画、タレントの選考等について協議し、8月に一次オーディションを実施しました。今後は、3年間にわたって、合格者に対して実施するプログラムの内容を具体化していく必要があります。

#### <成年選手>

##### ⑧成年強化選手の指定

5名のトップアスリートを強化指定し、計画的に強化支援を行った結果、4名の選手が第71回国民体育大会に出場することができました。今後は、これらの選手がそれぞれの競技団体において中核的な活躍ができるよう、取組を進めていく必要があります。

##### ⑨大学運動部、企業・クラブチームの強化指定

成年種別の競技力向上の中核となる大学運動部、企業・クラブチームを(16チーム)指定し、強化活動を支援したことで、オリンピック選手を輩出したほか、13チームから第71回国民体育大会へ選手を派遣しました。今後は、指定チームの拡充を図るとともに、より戦略的な強化に取り組む必要があります。

##### ⑩スポーツ指導員の配置

トップアスリートをスポーツ指導員として5競技団体に派遣し、ジュニア・少年選手や成年選手の競技力向上及び指導者の資質向上に努めた結果、すべての競技において第71回国民体育大会に出場することができました。会期前開催として実施された水泳競技飛込において、競技得点10点を獲得することができました。今後は、第71回国民体育大会に向けた競技力向上の取組を進める必要があります。

##### ⑪トップアスリート就職支援

トップアスリートが県内で競技活動が継続できるよう、三重とこわか国体の正式競技である競技団体にトップアスリートの勧誘を依頼するとともに、公益財団法人三重県体育協会に企業への協力依頼及びマッチングを依頼した結果、93社からの求人登録と3名(9月末日時点)の内定を得ることができました。今後は、県内企業に就職し、競技活動の継続を希望するアスリートを確保して、企業とのマッチングを図っていく必要があります。

#### <指導者>

##### ⑫指導者研修

強化指定運動部・チームの指導者に対して、「スポーツ心理学」をテーマにした研修会を7月に実施しました。今後は、指導者自身がこれまでの指導法を再点検し、強化活動に還元できるよう取り組む必要があります。

##### ⑬特別コーチの派遣

国内外の大会で活躍する選手や優れた指導実績をもつ指導者を特別コーチとして年間コーチを2競技団体に、ワンポイントコーチとして7競技団体に派遣した結果、7競技で第71回国民体育大会への出場権を確保しました。

#### <環境・広報>

##### ⑭医・科学サポート

スポーツ医・科学の専門家を6競技団体の強化合宿や大会等に派遣し、選手のリハビリや大会へ向けたコンディショニングについて指導を行った結果、5競技で第71回国民体育大会への出場権を確保しました。

#### ⑮環境整備

三重とこわか国体に向けた競技力向上に特殊用具備品を必要としている競技団体や備品の不足や老朽化等により競技会への出場等に支障をきたしている競技団体に対して必要な特殊用具備品の購入に補助を行いました。

#### ⑯みえのアスリート応援・発信

「輝くみえのアスリートニュース」でリオデジャネイロオリンピックに出場した本県ゆかりの選手を特集し、トップアスリートを目指すジュニア・少年選手の意識醸成を図りました。

### 下半期（翌年度）に向けた取組方向

#### 〔下半期〕

本県の競技スポーツ水準の向上のため、競技力向上対策委員会等における意見を参考にしながら、より効果的な強化対策に取り組みます。

#### <ジュニア・少年選手>

ジュニア・少年選手については、全国高等学校総合体育大会、三重とこわか国体の開催に向けて、ターゲットエイジとなる中学生・高校生アスリートを計画的、戦略的に育成・強化する取組を進めます。

#### <少年・成年共通>

第71回国民体育大会での天皇杯順位10位台の確保及び天皇杯得点1,100点の獲得を目指し、国民体育大会第37回東海ブロック大会を通過した競技団体に対し、強化活動の支援を行うとともに、選手の意識向上を図るため、計画的に視察・激励を行います。

#### <成年選手>

スポーツ指導員の配置については、より一層活用が図られるよう、各競技団体と協議を行うとともに、スポーツ指導員とも各競技団体が抱える課題について情報共有を行い、その解決に向けた取組を進めます。

就職支援については、競技団体と三重とこわか国体へ向けた成年種別の強化策等を協議し、さらに緊密に連携しながらアスリートの確保に取り組みます。

#### <女性アスリート>

電話相談の利用を促進するため、競技団体、指導者、選手等への周知に努めます。

女性アスリートタレント発掘・育成については、教育・育成等のプログラムをできるだけ早期に策定し、発掘したアスリートの育成に着手します。

#### <指導者>

強化指定運動部・チームの指導者研修会の2回目を前回と同じ講師により「スポーツ心理学」をテーマとして開催し、指導者の資質向上と指導者間の情報共有の場として活用できるよう取組を進めます。

年間コーチとして派遣している特別コーチを活用し、来年度へ向けた強化に取り組みます。

#### <環境・広報>

第71回国民体育大会での本県選手の活躍をジュニア・少年選手及び競技団体等に広報し、スポーツを「する人」、「みる人」、「支える人」の一体感の醸成を図ります。

#### 〔翌年度〕

引き続き、ジュニア・少年選手及び成年選手の育成・強化に取り組むとともに、女性アスリートサポート、タレント発掘・育成を進めます。また、スポーツ指導員配置及び特別コーチ派遣を進め、指導者の資質向上を図るとともに競技力向上に取り組みます。